

初期研修医の学会・研究会活動報告

今後、研修医たちの学会や研究会での発表活動を随時アップしていきます。初期研修の参考にしてください。

第56回日本農村医学会総会（新潟県長岡市、平成19年10月11-12日）で8名の研修医が発表してきました。

1. 気管支に発生した悪性黒色腫の一例（石井梨絵）
2. SAMによる腹腔内出血症例に対し栓塞術が有効であった一例（鈴木智子）
3. スクリーニング内視鏡検査で発見された無症候性大腸アニサキス症の一例（岩井信策）
4. 大腸憩室出血の一例（池野知佳）
5. 糖原病に合併した巨大肝腫瘍の一例（藤澤大輔）
6. 発症時肺炎合併が認められた急性糸球体腎炎の一例（東條正幸）
7. 確定診断がつかなかった多発性脳腫瘍の一症例（勝村宇博）
8. 3D-CTが有用であった耳小骨離断の一症例（佐々木一憲）

研修医の皆さん、よく頑張りました。発表のご指導をいただいた先生方にも感謝いたします。